

【ナス、ミニトマトの育苗】

◆基本

- ・今の時期はまだ寒いのでハウスで育苗する。
- ・原則、「種の大きさの3倍の深さに蒔く」
- ・水はやり過ぎず、表面が乾いてから与えるぐらいに調整する
- ・発芽は温床で10日ちょっと、冷床(加温しない所)で2週間ぐらいかかる。
- ・1ヶ月ぐらいでポットに鉢上げして、さらに育苗して4月半ばに定植予定。

◆苗床作り

鹿沼土とピートモスを混ぜて苗床を作ります。ピートモスはコケ類などが堆積して長い年月をかけて腐食化したもので、保水性が抜群ですが乾燥するとカピカピになってしまうので、保水性がよく排水性も良い鹿沼土と混ぜ合わせます。(鹿沼土は栃木県鹿沼市の土で、肥料分は無いが、園芸用の土として有名)



家庭菜園では「育苗用培養土」をホームセンターで買えば十分です♪土の軽さ・保水性・保肥性などが調整されています。



◆種まきの流れ

まず、育苗トレイに育苗用の土を凹凸がないよう均して敷き詰めます。ちょっとしたデコボコも種にとっては大きいので、土を盛り込んだら出来るだけ平らになります。



次に、苗床に水をシャワーノズルを使ってかけます。角は特に念入りに。
土の下の方に水が浸透するには時間がかかるため、3回以上はかけましょう。



小さな種の場合は、種蒔き前に十分に水をかけるのがポイント。種まき後に水をかけると表土や種が流されてしまいます。



次に、種を蒔くための凹みを作ります。どんな野菜でも**種の3倍の深さ**が基本です。
種が小さいので、1つ1つ指先でチョココンと5mmぐらいの凹みを作りましょう。
この凹みに、ゴマ粒ぐらいの種を1粒ずつ播いていきます。
また、慣れていないと、2粒以上になってしまうので注意が必要です。



種を蒔く深さは、浅いと乾燥したり風で飛ばされたりしますし、深いと芽が地表に出ないので注意が必要です。



種を播き終わったら、軽く土を凹みが埋まるようにかけます。
種の発芽を邪魔しないよう軽くかけ、余分な土は軽くはらいましょう。
種が小さいのであまり山盛りにすると、芽が出てくる前に力尽きてしまうので注意しましょう。



◆トンネル作り

育苗トレイを並べ、トンネル用のひごをアーチをかけるように地面に挿しかまぼこ状にトンネルの骨組みを作ります。
それぞれのアーチの高さを揃えるようにしましょう。
この上から保温効果のある寒冷紗やビニールなどを被せ、外れないよう端に重りをして完成です。



畑でトンネルを作る際は、風で飛ばされないよう杭を打ったり裾に重しを載せる必要があります。ベランダでは透明ビニールを被せてください。



【補足】

高柳さんはプロなので、電気で温度管理が出来る温床を使いましたが、昔は腐葉土などを発酵させた「踏み床温床」という発酵熱で温床を作っていました。温床だと土が乾きやすいため、発芽するまでは濡れ新聞紙をかぶせ、新聞紙の上から水をかけることで、種が水で流れないようにしつつ灌水が出来ます。水をかけ過ぎると根が育たず貧弱な苗になりますので、毎日ではなく「表面が乾いたら水を撒く」というように心がけましょう。

また、温床ではなく、ハウスの中で地面に直接置く冷床でも問題ありません。その場合は、冷たい地温が直接伝わらないように、育苗箱などを裏返しして土台を置きその上に種を播いた箱を置きましょう。冷床の場合も乾いたら水をかける必要がありますが、直接かけると水で種が流れてしまうので新聞紙を被せて、その上からシャワーノズルで水をあげてください。

なお、発芽した後に新聞紙が被せてあると芽が日光を浴びず死んでしまいますので発芽しそうな頃(10日～2週間頃)は注意し、芽が見えたら新聞紙は外しましょう。

【一般的な栽培方法】

高柳さんはハウスに4月に苗を植えて「収穫時期を長くするため」に2月にハウスで種蒔きします。しかし、普通の人にはハウスは無いので、ベランダで透明ビニールをかけて育ててください。片岡の経験では3月末～4月頭に種を蒔き5月末～6月頭には苗が出来ました。また、苗を買ってきて路地植えする場合は、5月上旬～6月頭までに植えれば大丈夫です。梅雨になると病気が出たり実が割れるので、雨よけ(ホームセンターで売っています)があれば育ちやすいです。プランターは毎日ではなく表面が乾いてから水をやりましょう。※種を買っても一般の人は余ってしまうので、知り合いと分け合うなど工夫しましょう。※プランターは大きいほど良いです。私は土量30～40リットルに1本植えで背丈2m超になります。

【今後の流れ】

温床であれば10日間ぐらいで発芽します。冷床であれば2週間ぐらいで発芽します。1ヵ月後には今回の小さなセルトレイでは根が回って土が足りなくなり肥料切れもするのでポットに鉢上げします。更に1ヵ月後、4月になったらハウス内に定植します。屋外の路地に植える人は霜が降りる可能性が少ない5月に入ってから植えるようにしましょう。ベランダで育てる場合は5月末ぐらいまでは透明ビニールで覆うと生育促進ができます。